

2017年12月1日発行

# 会 報

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部  
事務局連絡先 Phone : 080-9495-8566 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)  
支部長 : 長嶋滋孔 事務局長 : 岡井政彦 会計 : 池谷忠文 広報 : 岩田良明・関根洋子

## 例 会 報 告

平成29年度第4回例会を開催したので報告する。

**実施日時** : 平成29年10月28日(土)

13時30分から16時30分

**場 所** : 『積水ハウス静岡住まいの夢工場』  
掛川市中1100

**参 加 者** : 長嶋支部長を含め15名

研修概要

今回は、積水ハウスにお勤めの馬淵大畿会員の協力により、静岡県をはじめ愛知・三重・岐阜県に供給する住宅の製造工場内にある『静岡すまいの夢工場』を視察した。

積水ハウスは、宮城県加美郡色麻町、茨城県古河市、京都府木津川市、山口県山口市の5か所に『すまいの夢工場』を有し、全国に住宅を供給するだけでなく地震や環境への取組などを情報発信している。

家づくりのテーマパークとも言える施設内には、阪神淡路大震災の震度7の地震波形を忠実に再現できるシステムが導入され、免震住宅と耐震住宅でどのように違うのかなどを体験できる『安震館』、壁面の断熱材や窓ガラスなどの材質や構造によりエネルギー損失がどのように変化するのか、最新の太陽光発電やコジェネレーションシステムなどが地球環

境へどのように寄与できるのかなどを学べる

『グリーンファースト館』、住宅の躯体構造とともに地震などの外力に対し、重要なファクターを占める鋼管杭や場所打ち杭などの基礎構造や躯体への地震力を軽減する『SHECAS』の実験装置などを体験できる『まると鉄骨館』などを見学した。これらの体験館では、積水ハウスの安全安心、環境などの取組が全て分かるように工夫されているので皆様方も一度訪れて見たらいかがですか。今回の見学会では、前述の馬淵会員や浜松支店の山田訓生設計課長様には大変お忙しい中、丁寧にご説明いただきこの場をお借りし心より謝辞を申し上げます。

(岩田良明広報担当)

## テクノロジーカフェ

静岡県支部で行っている、『テクノロジーカフェ（以下 カフェ）』の現状を報告する。

当カフェの目的は、大きくは二点あり、一点目は、一般市民向けに技術テーマをわかりやすく伝え、説明し聴講される方々との意見交換すること、二点目は、技術士の認知度や会員のプレゼン能力を向上することにも寄与させることにある。プレゼンテーション力を高めてわかりやすく市民の方々に技術を伝えるのは技術士の使命かもしれません。

当カフェは、2015年の1月から始まり毎月1回のペースで継続してきた。途中、講師の都合で開催できないこともあったが2017年11月で通算32回のカフェを開催してきた。

この紙面をお借りして、カフェの実施報告をする。

全32回のカフェには、32人の会員が登場しておりそれぞれの分野で技術の話題を講話している。

各テーマについては、日本技術士会静岡県支部のホームページに掲載している。

当カフェを開催場所は、静岡団塊創業塾（原田和正理事長）が運営しているシニアライフ支援センター「くれば」：静岡市葵区両替町2-3-6（054-252-8018）を提供いただいています。

シニアライフ支援センターの事業は、様々なテーマを各講師陣によりセミナー形式で開催しており、当カフェはそのセミナーのプログラムに毎月1回のペースで組み込んでいただいている。

シニアライフ支援センターの事業は、くればホームページを参照いただきたい。

当カフェの管理者は、日本技術士会静岡県

支部、主催者は静岡団塊創業塾という体制で開催している。以下に、直近の9月、10月、11月の実施概要を報告する。

○9月27日（水）

林 誠会員（電気電子部門）

題目「電気と磁石と光の不思議な関係」

林講師は地域で開催される理科教室で豊富な経験をお持ちである。

出席者：会員4名（講師1名含む）と市民の方3人の計7名



磁石とコイルで作られた小型モーターが回る仕掛けである。（写真下）

上記の原理はリニアモーターに展開、アルミでできたコイルを使い、別途実験でも紹介。



最後に、電磁石と光の関係が身近な技術に

生かされており、今後これらの技術がどう展開するか話題は尽きなかった。

○10月27日（金）

加藤 信之会員（電気電子部門）

「たかが電磁石、されど電磁石」

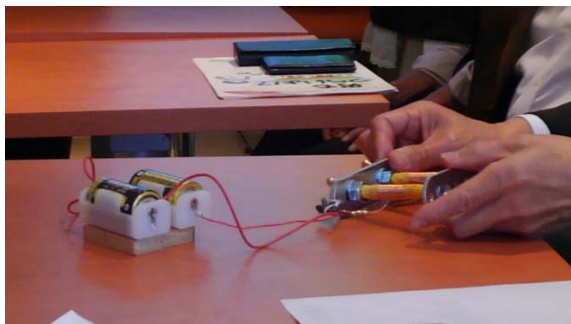
加藤講師は、現役のメーカー勤務であり自動車部品の電装品の設計および関係業者への技術支援を行っている。

出席者：市民の方4名、会員4名（講師含む）、計8名



電磁石とは？から始まり、電磁石の模型実験を通じて電磁石の機能、性質を活かした制御技術が産業にいかに関与しているか改めて実感できた良い機会になった。

日本の品質管理は世界に秀でると誰しも信じたことがもろくも崩れるような昨今の報道もあり、テクノロジーカフェの話題もあらぬ方へ展開。別の機会に「企業の不祥事に絡めての話題」提供もという意見も出た。



○11月16日（木）

関根 洋子会員（森林部門）

「のり面緑化という技術」

出席者：市民の方7名、会員4名（講師含む）、計11名

今回は、高速道路などに見られる人工的につくられたのり面を保護するのり面緑化の話でした。森林環境保全のため盛土のり面への植林技術に生態学も関係していることを事例で紹介し、わかりやすく説明していただいた。



緑化技術の話題から日本の林業の素材生産と環境保全は政策の責務という話題であらぬ方へ展開するのを軌道修正しつつ、時間ぎりぎりの4時で終わりました。

以上、直近の3回のカフェを紹介しました。聴講者は、主に静岡団塊創業塾会員である。場所が静岡市内中心部であり、一般の方にも興味をもっていただけるテーマ、内容であれば集客に事欠かないと思う。新聞やニュースでにぎわす話題を技術と絡めて話題にすることも立派なカフェのテーマになると考える。

テクノロジーカフェの事業が会員の「見える化」のために一役買うことになれば続けることは意味があり、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いします。

文責 山之上 誠（建設部門）社会貢献委員会 テクノロジーカフェ担当

## ■テクノロジーカフェ実施結果一覧表

年	日付	講師	テーマ
2015年	1月15日	吉田建彦	ベアリングのお話し
	2月19日	柴田達哉	土砂災害のお話し
	3月13日	井辺博光	世界の水事情と、気候変動の現状と課題
	4月14日	北本達治	自動車を動かす電池の話
	5月20日	山下久吉	コンピュータはどのように計算しているか
	6月16日	關 尚彦	浜松防潮堤のお話し
	7月16日	牧野好秀	世界に誇れる日本の水道技術
	8月18日	吉田建彦	『夏休み児童の為の楽しい理科教室』 昼と夜、夏至と冬至はなぜ生じるか 濁った水もたちまちきれいな水に変身 モーターを作って、回してみよう
	8月19日	井辺博光	
	8月20日	岡井政彦	
	9月11日	五味道隆	テクノロジーの光と影
	10月27日	宮野正克	最近の中国産業事情と日中対比
	11月24日	山之上誠	巨大な橋に込められた話
	12月25日	柴田達哉	地盤調査と建物基礎の話
2016年	2月25日	大塚 優	環境にやさしい生活のすすめ
	3月22日	馬淵大機	コンクリート構造物の劣化と避難行動
	4月12日	村瀬 司	ゴミ処理及びリサイクル技術の現実と限界
	5月17日	武中英雄	ドローンや人工衛星を利用した計測技術
	6月21日	近藤 衛	国際協力(ODA)と漁業の話
	7月29日	鈴木敏弘	賢く安全な電気の使い方
	8月24日	小澤 靖	(仮)包装機械などの機械技術/フタの話
	9月27日	角入一典	まちづくりのお話し
	10月13日	小泉雅弘	工事現場は監督さんの知恵の宝庫
	11月25日	杉山武彦	証拠品は語る 科学的鑑定について
	12月22日	土井俊幸	地球温暖化対策 私たちにできること
	2017年	1月24日	山西正朗
3月09日		横山真人	日本の森林と林業について
4月21日		池谷忠文	ハチ公と農業用水
5月26日		小南秀彰	あなたのパソコンは研究所
6月23日		大嶽陽一	怖い感電事故、それを防ぐには
7月28日		水野俊兵	堤防はどのようにして街を守っているか
8月22日		岩田良明	世界と繋がるみなとの不思議
9月27日		林 誠	電気と磁石と光の不思議な関係
10月27日		加藤信之	たかが電磁石、されど電磁石
11月16日		関根洋子	のり面緑化という技術

テクノロジーカフェでの講師は随時募集しております。静岡県支部会員の方で、テクノロジーカフェでの講話を行ってみたいという方は、事務局までご連絡ください。

## 会員の活動報告

### ○理科支援活動

小学校における理科特別授業は、中部本部理科支援委員会が主催し、平成 19 年から 28 年度までに中部 4 県で 319 件、静岡県では 49 件実施した。

平成 29 年度の、静岡県内の小学校で行った理科特別授業(愛知県講師の場合もある)および静岡県支部会員が携わった理科特別授業(愛知県、三重県の小学校もある)は以下のとおり。

No.	日付	学校	講師	題目	学年	備考
1	9 月 11 日	愛知県豊明市立 唐竹小学校	吉田建彦	太陽と地球と月の関係	6 年	
2	9 月 12 日	袋井市立浅羽北小学校	北本達治 (神奈川県支部)	花火の色がなぜ赤かったり黄色かったりするのだろうか	6 年	
3	10 月 20 日	三重県伊勢市立 北浜小学校	吉田建彦	太陽と地球と月の関係	6 年	
4	10 月 23 日	御前崎市立白羽小学校	柴田達哉	私たちの住む街の土地の成り立ち	6 年	
5	10 月 31 日	掛川市立千浜小学校	馬淵大畿	私たちの暮らしと防災、大津波と液状化	6 年	
6	11 月 2 日	掛川市立大坂小学校	小泉雅弘	物の温度と体積	4 年	
7	11 月 8 日	静岡市立賤機北小学校	柴田達哉	地震による地盤の液状化	6 年	
8	11 月 14 日	藤枝市立葉梨西北小学校	加藤信夫 (愛知県支部)	地層を構成する「れき・砂・泥」の標本づくり	6 年	
9	11 月 15 日	愛知県常滑市立 西浦南小学校	吉田建彦	太陽と地球と月の関係	6 年	
10	12 月 14 日	菊川市立六郷小学校	野々部顕治 (愛知県支部)	ものの溶け方	6 年	

小学校以外での教育イベントは以下のとおり。

No.	日付	場所・イベント名	講師	題目	対象	備考
1	8 月 4 日	NPO 法人キャリア教育研究所ドリームゲート	吉田建彦	こども地震防災教室 ・防災グッズ作り ・防災カルタによる防災知識の研修	小中学生	磐田市
2	8 月 6 日	静岡県地震防災センター	吉田建彦、柴田達哉ほか	こども地震防災教室 ・防災グッズ作り ・防災カルタによる防災知識の研修	小中学生	静岡市

○ 研究会報告

1) 防災研究会

下記のように第2回防災研究会を開催したので報告する。

29年度-静岡県支部 防災研究会 議事録 (2017年度第2回)		開催日時	平成29年11月24日(金) 17:00~18:00		
		場所	富士宮市立図書館会議室		
		作成者	吉田建彦	作成日	平成29年11月25日
出欠	<input type="checkbox"/> 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 山之上誠 <input type="checkbox"/> 小泉雅弘	<input checked="" type="checkbox"/> 柴田達哉 <input checked="" type="checkbox"/> 馬淵大幾	<input type="checkbox"/> 土井俊幸 <input type="checkbox"/> 吉田建彦	<input type="checkbox"/> 角入一典
研究会テーマ検討					
各人の意見・提案を持ち寄って検討し、次回までの研究テーマを以下のように決定した。					
1. 地形・地質から想定される自然災害リスク 柴田会員に引き続き、方針や内容を検討・担当願う。					
2. 富士山の火山噴火の研修 本日、国土交通省富士砂防事務所を訪問して「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の説明を受講した。防災計画について、市民の参加が一層必要なので、技術士会主催の市民ワークショップ等による意見交換会の実施を図りたい。その場合、自治体との協業、継続性などが必要なので、角入会員が実施方法につき担当する。					
3. 発災時における技術士の支援活動の整理 (1)防災支援員制度を3年前中部本部全体で発足し、静岡県でも19人が登録している。しかし、発災時の現地支援では、被災者の質問にどのように答えるのか認識できていない。被災者・防災支援員のQ&Aを技術分野・法的分野合わせて数十問程度をポケットブックとして素案を吉田会員が担当する。 (2)発災時の技術士会の支援として、考えられる項目(仮設住宅の計画づくり、橋梁・避難路・物資運送路の安全点検、上下水道等ライフラインの復旧計画、行政機関への技術的支援等)を洗い出し、具体化する。角入会員が担当する。					
4. 防災 Q&A の静岡版作成 統轄本部が発行している「親子で考える防災 Q&A」は有用であるが、津波・火山噴火・原発など静岡県の事情も考慮した静岡版作成を検討する。統轄本部の原案を追加修正することも考えられるが、その場合は著作権上の問題もあり、統轄本部の原著者との打ち合わせが必要となる。その前に第一歩として追加修正したい項目を山之上会員が担当する。					
5. 地震防災センターでの活動検討 技術士会県支部としての考えやイベント項目のメニュー(発災前:食料・水の備蓄、発災時:防災グッズの作り方、発災後:サバイバル方法など)とその内容を作成する。小泉会員が担当する。					
6. 情報ネットの作成 県支部として発災した場合に備えた情報ネットを作成する。まずは、役員会、防災支援委員会、防災支援員、中部本部との関係を絡めて、メール、電話のやり取り、事前情報訓練などが必要と思われる。土井会員担当する。					
以上6項目担当会員が、素案作りを行い、次回2月2日金曜日17時から19時に持ち寄って打ち合わせる。場所は静岡市団塊創業塾「くれば」(テクノロジーカフェの場所)とする。					

## お知らせ

名 称	月 日	時 間	場 所	内 容
第 5 回 CPD 例会	12 月 9 日 (土)	13 時受付開始	静岡県男女共同 参画センター「あ ざれあ」(静岡市)	CPD 例会 講演 I 「局所排気装置、プッシュ プル型換気装置の考え方」 日本労働安全衛生コンサルタ ント会静岡支部長 目黒 輝久氏 講演 II 「緑茶ができるまで、そ して成分とその可能性」 農研機構果樹茶業研究部門 金 谷茶業研究拠点 物部 真奈美氏
第 6 回 CPD 例会	2 月 24 日 (土)	午後(予定)	静岡県男女共同 参画センター「あ ざれあ」(静岡市) 予定	CPD 例会 —検討中—

※会員の方には、メーリングリストにて、随時行事の案内をお知らせいたします。

※静岡県地区例会を開催予定です。詳細決定次第、メーリングリストおよびホームページにてお知らせいたします。

### ■編集後記

11月にテクノロジカフェで講師をするという、貴重な経験をさせていただきました。専門分野について、一般の方にお話するというのはとても難しいことを改めて実感しました。

静岡団塊創業塾の原田和正理事長からは、「技術士会員のプレゼン技術向上の場として是非活用してください。」とのお言葉をいただきました。テクノロジカフェにご興味のある方、一般の方にご自分の専門技術について紹介したい方、プレゼン技術を磨きたいという方、ぜひテクノロジカフェの講師にチャレンジしてみてください。(広報担当：関根洋子)



中部本部 静岡県支部

---

事務局：〒422-8005 静岡市駿河区池田 2316-2(岡井雅彦)

TEL : 080-9495-8566 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)